

人生ハンド仏句

第87号
H. 21. 6. 1
(毎月1日発行)

因果の理 (ことわり)

住職 谷川寛俊

原因があれば必ず結果があり、結果には必ず原因があります。この原因と結果を「因果」といい、一切の方法のことごとくに、この因果の法則が生じています。

今あなたが不幸だったたり不運に見舞われているなら、それは結果でありますから、必ずその不幸や不運になる原因が過去にあるわけです。

しかし中には、「私は生まれてこの方、悪い原因を作った記憶もないし、身に覚えもない」と言う人もおられるでしょう。そうなのでも私たちは一生の内に必ずしも原因から結果が生じるとは限らない事もあるのです。すなわち、この因果は、「三世両重の因果」といって、この一生だけでなく、過去・現在・未来と渡るからなのです。

良い原因には良い結果(善因善果)、悪い原因には悪い結果(悪因悪果)という法則が働いているのです。

方便品第二に「如是因、如是縁、如是果、如是報、如是本末究竟等」とありますが、この方便品に説かれている因・縁・果・報というのは一体どういうことかと申しますと、ここに白色と黒色の絵の具があるとします。混ぜてみると灰色になります。じつは、この一連の動作で因果果報が見えてきます。

白色と黒色の絵の具が「因」混ぜるといふ行為が「縁」配合による濃淡の差が「報」

ここで白色を善行、黒色を悪行に置き換えてみると、あなたの現在の色は白色に近い灰色ですか？それとも黒色に近い灰色ですか？

よくこの様な因縁の話をする時、「私は今とても不幸だから、よほど因縁が深いんですね。一体私は過去にどんな悪い因縁を作ったのでしょうか？教えて下さい。」と言う人がいます。残念ながら、私たちは過去に

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX (0765)22-2268
メールアドレス
kokorochanthk@ybb.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.geocities.jp/sinjyoujitoyama108/>

戻って因縁を作り直すことは出来ません。「因果のことわりは厳正(げんせい)にして犯し難(がた)し」つまり、やり直しは出来ないのです。このような人への答えは、お経の中に次のように出ています。

「過去の因を知らんと欲せば、現在の果を見よ。未来の果を知らんと欲せば、現在の因を見よ。」
私たちは過去には戻れません。しかし、これから先の未来は、変えることが出来るのです。
今からでも遅くありません。ともに良い因縁を作っていききたいものです。



山は山 海は海
しかし人は鬼にも仏にもなる